

第9学年 総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 9学年教員

1 単元名 飯塚提言

～飯塚を盛り上げる まちづくりアクションプランを提案せよ！～

2 単元について

我が国は、現在急激な少子化・高齢化の中にあり、人口減少を克服し、地方創生を成し遂げることが求められている。その為には、国民一人一人が主体的に社会を創り出すことが必要である。そのような状況の中、飯塚市は現在福岡県で4番目の人口を有し、「人が輝き まちが飛躍する 住みたいまち 住みつづけたいまち」を都市目標に掲げ、大型ショッピングセンターの建設、福岡市に繋がる道路の4車線化、大手製薬会社の工場の誘致など、様々な計画が実行されている。しかし、生徒たちは、このような飯塚市の施策を歓迎する一方、将来飯塚市に住み続けたいかという問いに対しては69名中65名が「そう思わない」と答えている。

そこで、生徒に自分自身が飯塚市の一員であり、主体的にこれからの飯塚市を考える態度を養うために本単元「飯塚提言」を設定した。この単元では、まず飯塚に住み続けたいと思わない理由を他の都市などと比較し、生徒の課題意識を高める。次に、課題解決のためのアクションプランを企画していく。ここでは、ICT機器を用いることにより、多様な情報を取捨選択するとともに、他者とのアイデアの共有や比較を効率的に行えるようにする。さらに、中間発表会では、他のグループとの意見交流を行い、実現性・魅力度・飯塚への還元性の視点で見直しを行う。最後に生徒は、グループの意見を飯塚市長の前でプレゼンし、市長から講評を頂くことで、持続可能な飯塚市になるためには自分自身はどうしたらいいのかという視点で考える態度を養うことができる。と考える。

また、この自分自身と関わりのある地域の課題を見出し、その課題を協働的に取り組む一連の活動は、飯塚市がめざす「コミュニケーション能力」「コラボレーション能力」「イノベーション能力」の育成にもつながり、この単元を設定することは意義深いと考える。

3 単元の目標

- 地域の活性化に繋がる課題を見つけ、課題解決に必要な情報を収集し、他者の考えを受け入れながらアクションプランを作成することができる。 (知識及び技能)
- 中間報告会で得た情報を整理し、これまでのアクションプランに付加・修正を行い、飯塚市長に伝わるプレゼンをすることができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- 持続可能な飯塚市に向けて、どのように飯塚市の発展に関わっていくかを明らかにすることができる。 (学びに向かう力、人間性等)

4 単元指導計画 (全17時間)

過程	時数	○主な学習活動 (内容)	◇主な評価規準
導 入	1	1 こんな街に住みたい！ 自分たちが住み続けたい理想の街について、ジャムボードを使って、ブレインストーミングする。	◇理想のまちについて考えようとしている。 【主体的】
	1	2 飯塚市にあるもの・ないものインターネットや資料等を使い、飯塚市の現状を調べ、把握する。	◇飯塚市の現状を把握しようとしている。 【知・技】

	1	3 他の都市の実例を調べよう！ 地方創生に成功した自治体や世界の都市を調べる。	◇地方創生のモデルを調べ、比較しようとしている。 【知・技】
展 開	2	4 アクションプランを考える これまでに得た情報を基に、企画の方向性を考える。	◇課題解決に向けて、情報を収集し、知識や技能に結び付けたり、考えを出し合ったりしている。 【思・判・表】
	2	5 アクションプランを完成する 企画の大筋を決め、中間発表の準備をする。	
	3 (1/3)	6 中間報告をする【本時】 ワールドカフェ方式で行う中間報告会を通してアクションプランを付加・修正する。	◇意見交流を通して気づいた改善点を整理し、アクションプランに付加したり、修正したりすることができる。 【思・判・表】
終 末	4	7 プレゼンテーションの準備をする 最終プレゼンに向けた準備を行う。	◇考えや意見などをまとめ、表現し、飯塚市長に伝わる工夫をしている。 【思・判・表】
	2	8 発表会 飯塚市長を招き、プレゼンテーションを行う。	
	1	9 振り返り	◇これまでの学習を振り返り、これからどのように飯塚市の発展に関わっていくかを明らかにする。 【主体的】

5 本単元（本時）における小中一貫の視点

（1）キャリア教育の視点（人間関係形成・社会形成能力）

本単元（本時）において、話し合い活動を通して多様な考えや他者の立場を尊重し、適切に意見のやり取りを行うことができる。また、目的を共有する多様な他者とチームを組み、支え合いながら活動することができる。

（2）9年間を通して系統性について

本単元は小学校第5学年（ちょいボラ隊参上）、中学校第1学年（企業コラボ）・第2学年（CORPORATE ACCESS）で行ったPBLの総まとめとして行う。

6 本時

（1）主眼

- ワールドカフェ方式で意見交流をする活動を通して、実現性・魅力度・飯塚への還元性の視点をもってグループでアイデアを練ったり、他のグループのメンバーと情報を共有したりしてアクションプランを付加・修正することができるようにする。

(2) 展開

段階	学習活動・内容	○指導上の留意点 ◇評価規準(方法)	配時
課題設定	<p>1 本時の活動を確認する。</p> <p>(1)前時までの学習を振り返る。</p> <p>(2)本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて 他のグループとの意見交流を通して、アクションプランを見直そう。</p> </div>	<p>○各グループで書いたアクションプランを確認させる。</p>	5
学び合い	<p>2 ワールドカフェ方式で意見交流をする。</p> <p>(1) ホストによるアクションプランの説明。</p> <p>(2)ホスト以外のメンバーによる意見交流</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇話し合いの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実現性 ・魅力度（おもしろさ） ・飯塚市への還元性 </div> <p>3 各グループでアクションプランの見直しを行う。</p>	<p>○交流の目的やルール、留意点を説明する。</p> <p>○ホストによるアクションプランの中身が伝わりやすくするため、模造紙の中央にプランの具体を記述させておく。</p> <p>○効果的な意見交流をするため、話し合いの視点を事前に示す。</p> <p>○意見交流を活発化させるため、言葉だけではなく、模造紙に色文字やイラストなどを使わせる。</p> <p>○アクションプランの見直し箇所を明らかにするため、3つの視点に基づいた改善点を出させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇意見交流を通して気づいた改善点を整理し、実現性・魅力度・飯塚への還元性の3つの視点からアクションプランに付加したり、修正したりすることができる。【思・判・表】</p> </div>	30
振り返り	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>これまでの活動を振り返り、次の活動内容につなげる。</p>	<p>○次回、アクションプランをブラッシュアップするために、アイデアを整理し、提言の発表に向けて振り返りを書かせる。</p>	5